
73P
イキそうなのか？
ヴァージントレインR


ああ…恥ずかしい…
何かいつもより
見られてるような気がする…
私が
こんな服装をしてるのには
理由があった
それは
私が
人一倍
痴漢にあうから
100%heart

家から大学までの
一時間半

乗り継ぐこと
電車3本…

そこで私は
毎日のように
痴漢されていた

そっとお尻を
撫でられたり

電車に揺られてるフリをして
肘でつつかれたり…

多い日には一日に
2度も痴漢されることもあった

嫌で嫌で
しょうがなかったけど

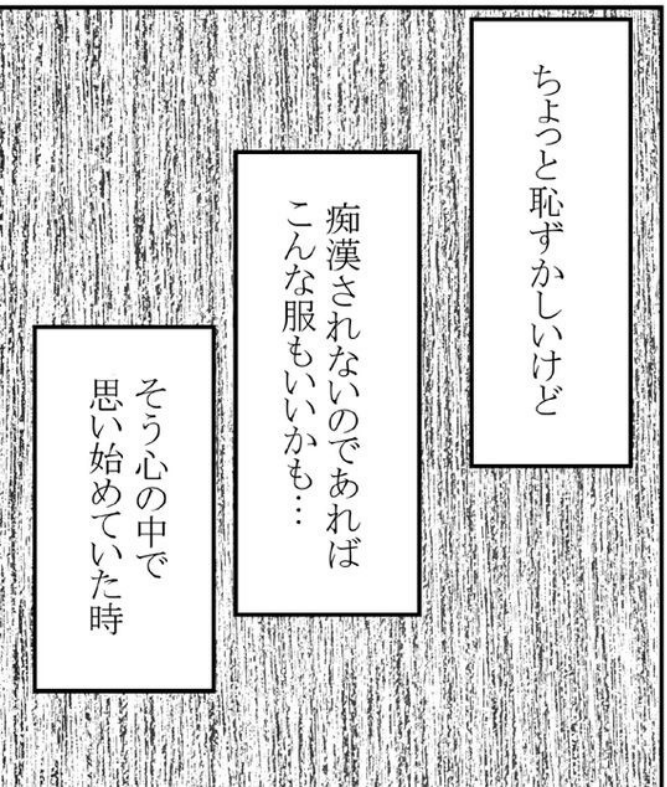
私はこの
自分から
はっきりと
声を出せない性格のせいで

今までずっと
損をしてきた


そこで
友人に相談したところ
何か痴漢って
ミニスカートとかの
女の子よりも
地味で抵抗しなさそうな
女の子のほうを狙うらしいよ
だからみつちゃんも
逆にエッチな服装にしたら
痴漢されなくなるんじゃない？


う～…
アオイちゃんに
薦められるままに
こんなギャルみたいな
服装になっちゃったけど…
100%heart
ホントに大丈夫かな…
ガヤタン


でも…
たしかにいつもよりも
男の人たちが私に
密着してこない…
それどころか心なしか
少し距離があいてるような…
ホントに
アオイちゃんの言ってた
通りなのかも…
ガヤタン
ガヤタン


ちょっと恥ずかしいけど
痴漢されないのであれば
こんな服もいいかも…
そう心の中で
思い始めていた時


それを
あざ笑うかのように
スッ
一人の男の手が
私の体に伸びてきた
100%heart

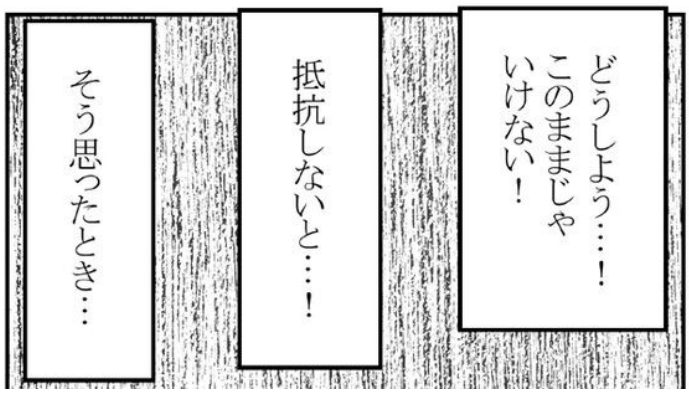
# 第1話

# 揺れる電車と
# 支配者との遭遇


……!!
いやっ…!!
痴漢…?
さわっ
うそっ…
やっぱりこの服でも
ダメなの?

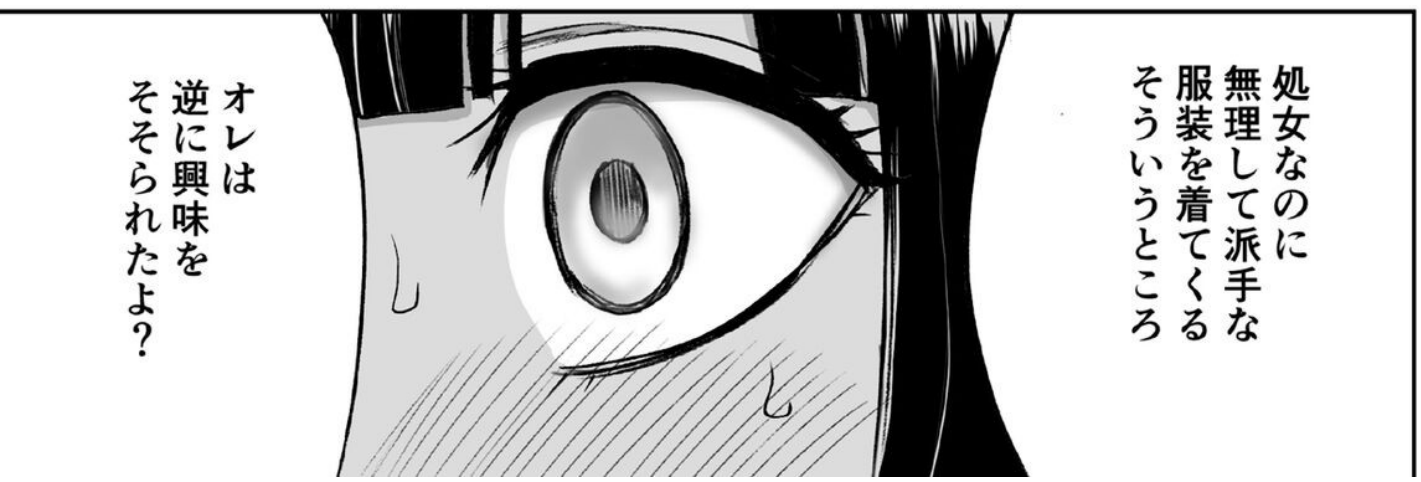

どうしよう…
こんなミニスカートじゃ
手の感覚がダイレクトに伝わってくる…
手が地肌にあたっちゃう!
さわさわ


普段こんなに
短いのを
はかないから
知らなかったけど
ミニスカートって
こんなに
無防備なの?


どうしよう…!
このままじゃ
いけない!
抵抗しないと…!
そう思ったとき…


ビキッ
キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあってた
コだよね
……!!


派手な服装にしたら
痴漢にあわないとでも
思った？
確かに
他の痴漢たちは
敬遠するかも
しれないけど…


処女なのに
無理して派手な
服装を着てくる
そういうところ
オレは
逆に興味を
そそられたよ？

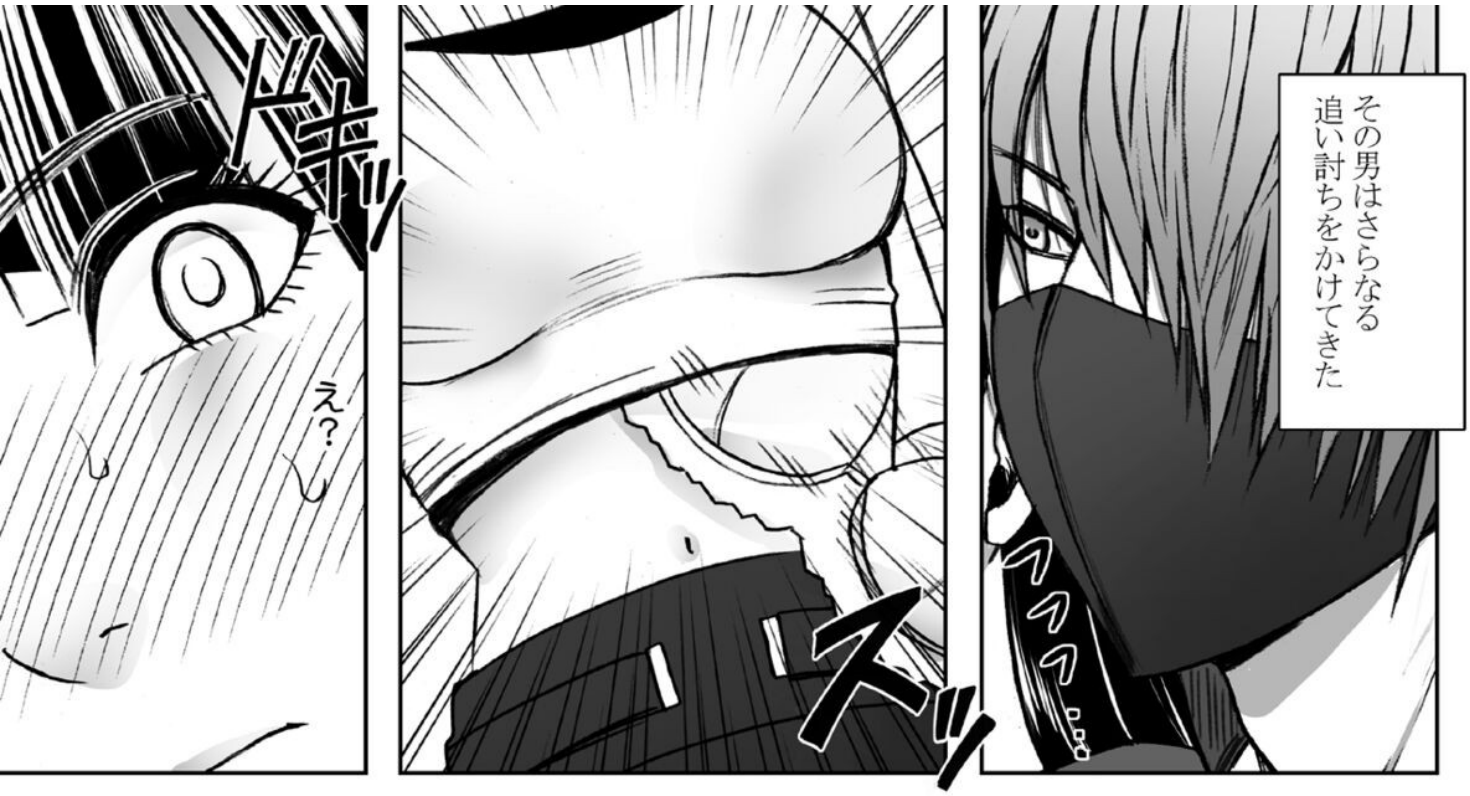

その一言で
私の抵抗は凍りついた
私は
この男の人に
すべてを
見透かされている
そんな
錯覚に陥って
フフフ…
普段はジーパンや
厚手のスカートをはいて
痴漢の手の感触を
『防御』していたんだろうけど
今日のミニスカートじゃ
何も防ぐことができないね
何もできなくなってしまった
カタン
カタン
さわ
さわ
100%heart


ほら
……!!
フフフ…
……!!
普段はかないような
こんな短いスカートで
ここまで来るの
恥ずかしかっただろ?
ムニ
でも今日は
コレで
終わりじゃない
もっともっと
恥ずかしい目に
合わせてあげるよ
バッ
……!?


……!!
100%heart
もみ


えっ？
胸をもまれてる…！
そんなっ…


今まで何度も痴漢にはあってきたけど
こんなに大胆に堂々と
胸を揉んでくる人は初めてで…
完全にパニック状態に
なっている私に
ガタン
ガタン


その男はさらなる
追い討ちをかけてきた
ハキッ!!
え?
スッ!!


キュッ♡
ブラジャーは地味な
ままだったね
見せかけだけ
派手にしても
内面は地味な処女のまま
まさに
今のキミを
あらわしている
ようだね
いやっ!
ブラジャーが!
100%Cotton


さて…
じゃあここからは
キミのもっと
内側の
誰にも
見せたことのない
部分に
触れていこうか
フフフ…
ああっ！
やだっ…何これ…！
この人の触り方…！
こんなの初めて…！
100%heart


胸がしびれる！
はじめての感覚で戸惑ってるのかな？
首筋がビリビリする！！
本当に男の人に触られるってことがどういうものなのか
頭のてっぺんがゾクゾクする…！
痴漢にはさんざん触られたことがあるけど男性経験はまるでない君に
しっかりと教えてあげようか
声が…声が出そうになる…！！


この男の手…
もどかしいと思う
ポイントを意図的に作り
絶妙なタイミングで
そこを触ってくる
スリ♡
スリ♡
それを
繰り返されるうちに
私の性感は
どんどん高まって…
100%heart


胸責めで
感じさせられ
翻弄されている間に
私の股間は
いつのまにか―
ドキッ
スッ
!!!


結構
濡れてるね
やっぱり気持ちよく
なっちゃってたんだね


何度も痴漢にあったことがある
キミでも
ココを触られるのは
初めてなのかな？
スリ♡スリ♡
スリ♡
スリ♡
どうしよう…！
このままじゃダメ…！


それから数十分間
私は一方的に
嬲られ続けた
パンツの上から
アソコを擦られ
胸を揉まれ
乳首をつままれる
ガタン
ガタン
ぼあ
ぼあ
ぼあ
ぼあ
びくっ
びくっ
そこばっか
スリ♡スリ♡
クリクリ
100%heart


手で止めようとしたり
逃げようとしたりしても
ガッ
動きを読まれているのか
カンタンにいなされ
また触られる…
その繰り返し
ビクッ
ビクビク
スリ♡
スリ♡
ビクビク

私にとって
それまでの
痴漢はただ

『気持ち悪いのを
ガマンする』

それだけの、
ものだった




目が眩みそうになるほどの
恥ずかしさと…
今まで体験したことのない
未知の感覚…
びくっ
びくっ
びくっ
100%heart
もみ
もみ
もみ
もみ

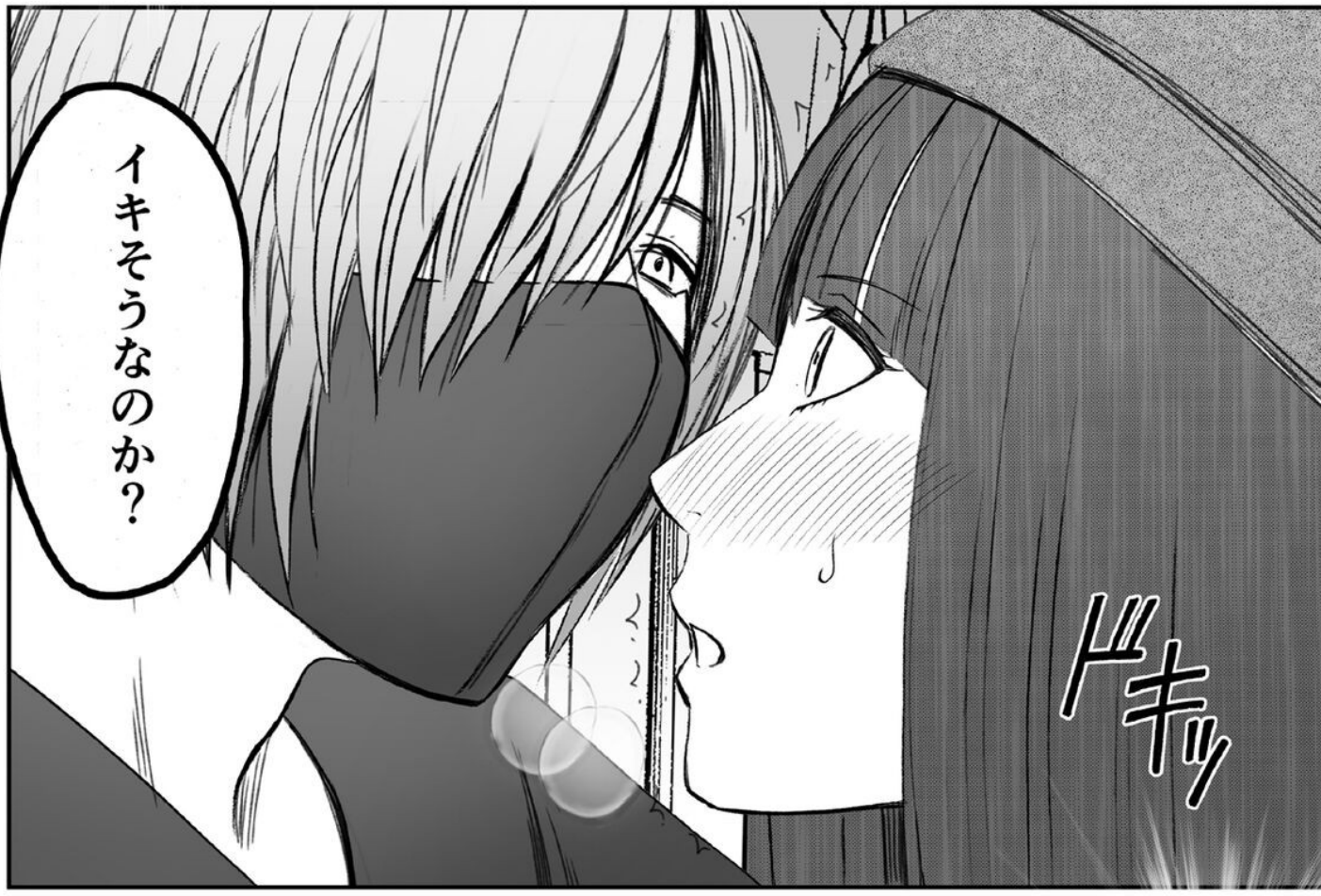

ひとつの終わりが
見えた


耐え続けた
そこに
突然


終わりがないかのように
思えるほどの時間


えっ…
待って…！
な…何これ…！？
この感覚…！
カラダが熱くなって…！
何かが果てそうなッ…！
ビクン
ビクン
ビクン


何なのコレは…！
もどかしい…
そこにたどり着きたい…！
これって…！


イキそうなのか？
ビキッ


…！？
えっ…
私……！？


しかもその様子を見ると
今までイッたことが
ないようだな
フフフ…
びくっ
びくっ
びくっ
いやっ…！
100%heart
恥ずかしい…！
恥ずかしすぎる…！


電車の中で
知らない男に
触られて
人生で
はじめての絶頂を
迎えるか？

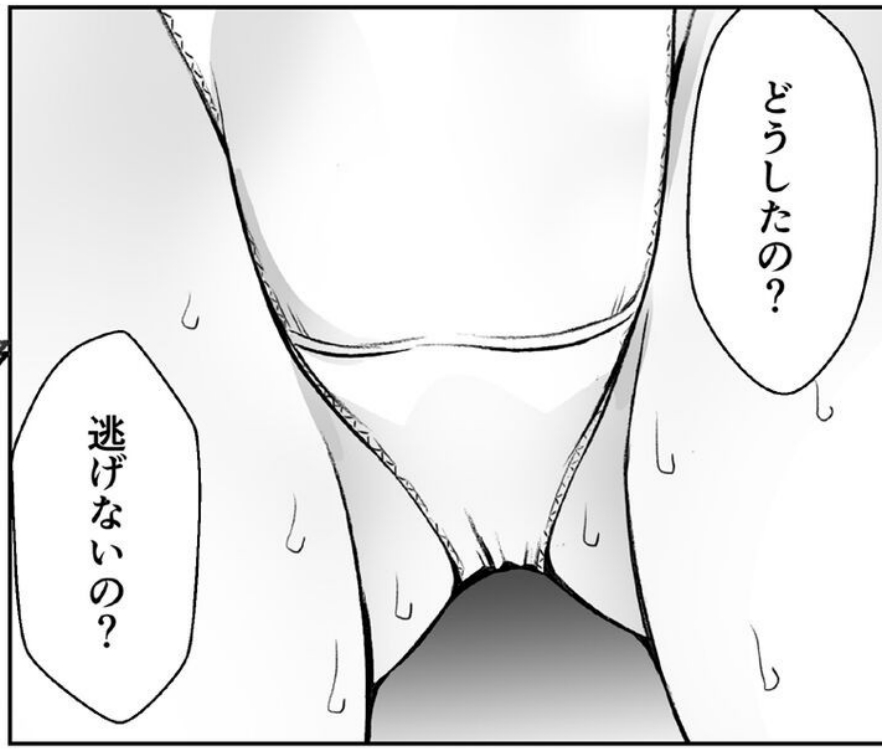

やだ…！
ガマンできない…！
触られているトコロが
気持ちよくなって…
ナレ♡


何で…！
こんなことで…！

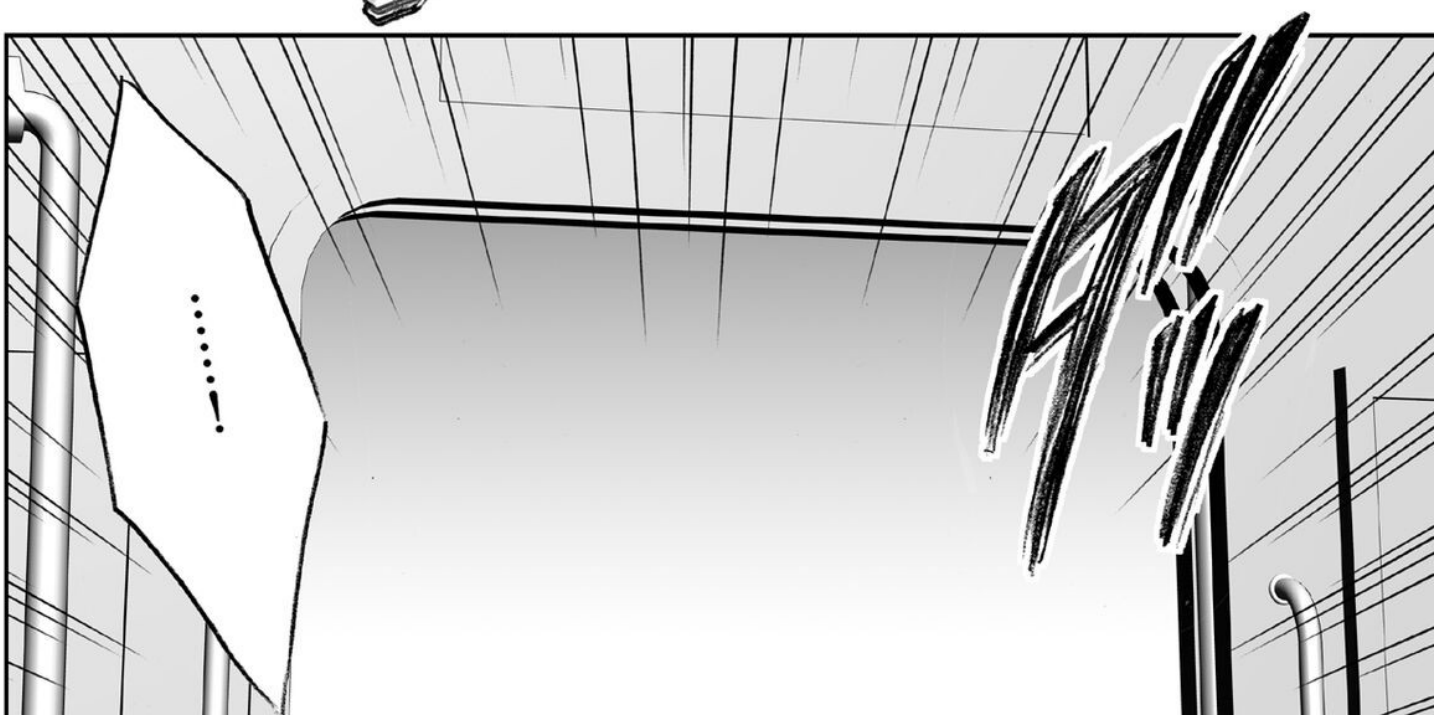

でも…
でも…！
私このまま…！
グッ
グッ
グッ

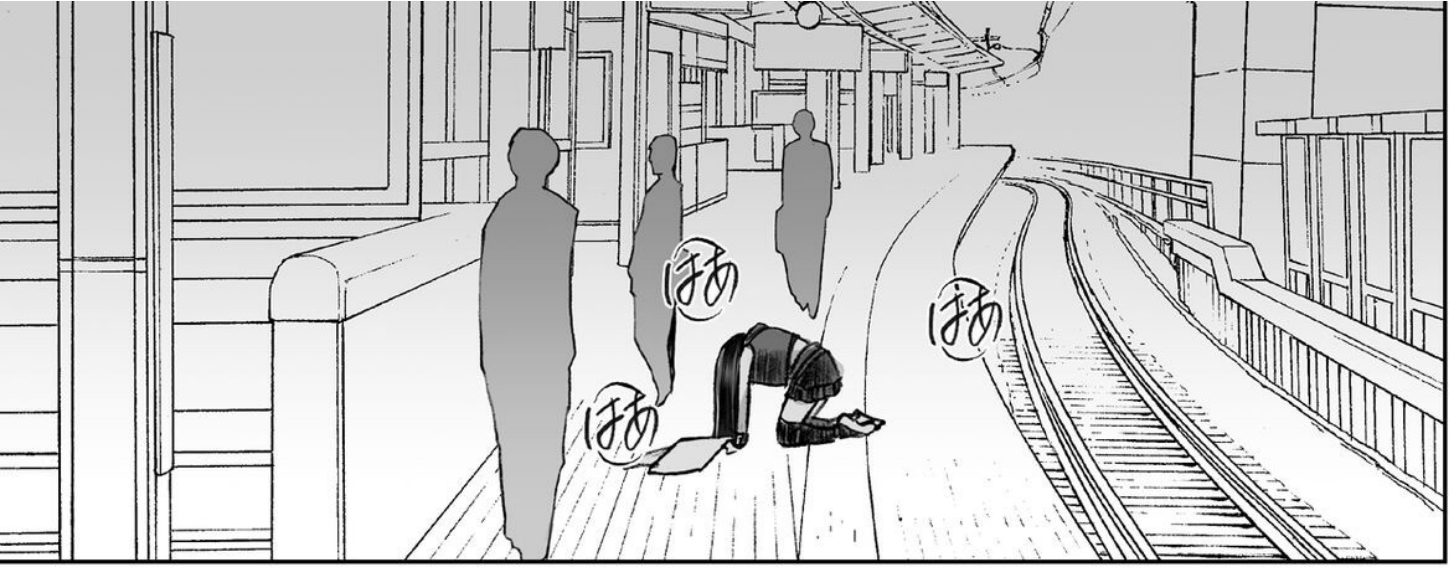

○○駅～
○○駅～
ドキッ!!!
ブチュ
……!?


ドアが開いたよ？
今なら逃げられるよ？


どうしたの？
逃げないの？


……!!

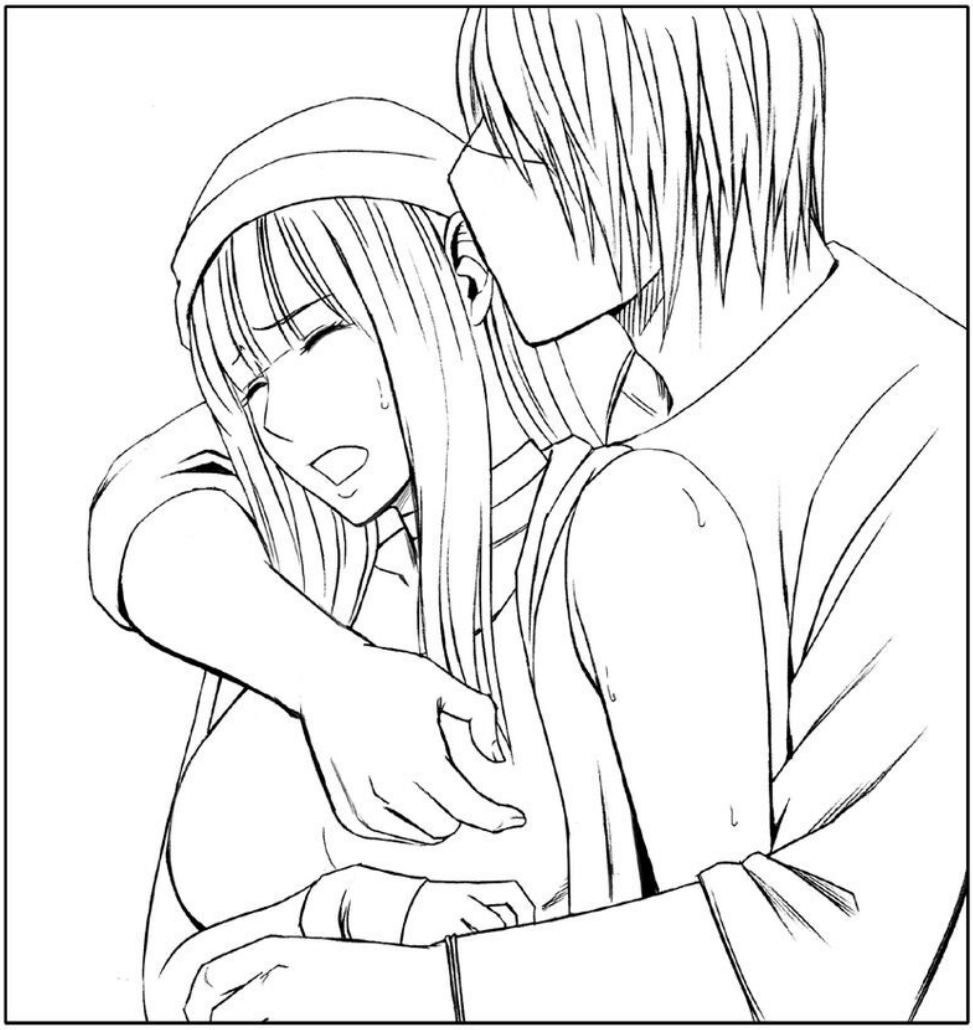

……！


ぼあ
ぼあ
ぼあ

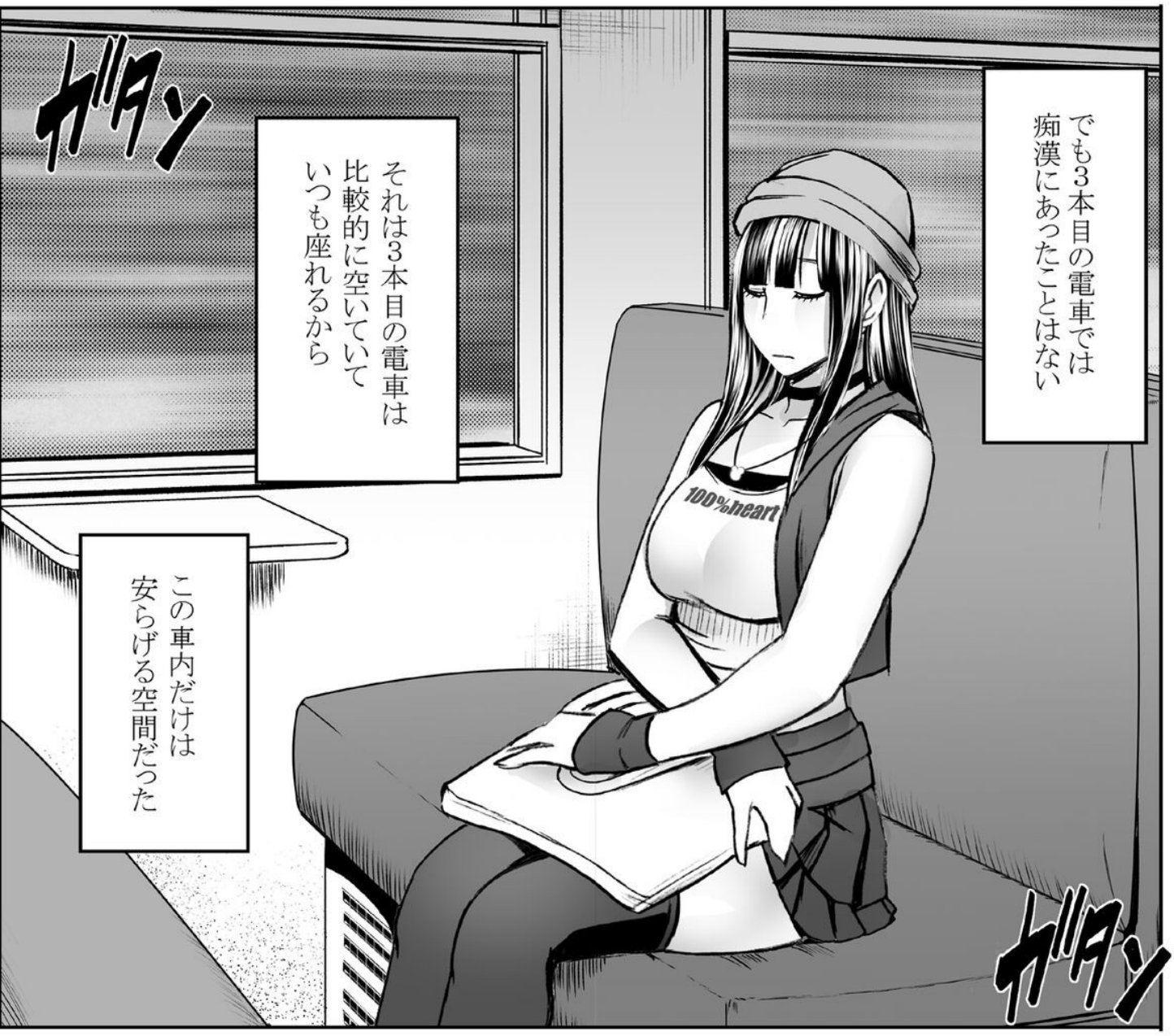

ぼあ
ぼあ
ぼあ
……

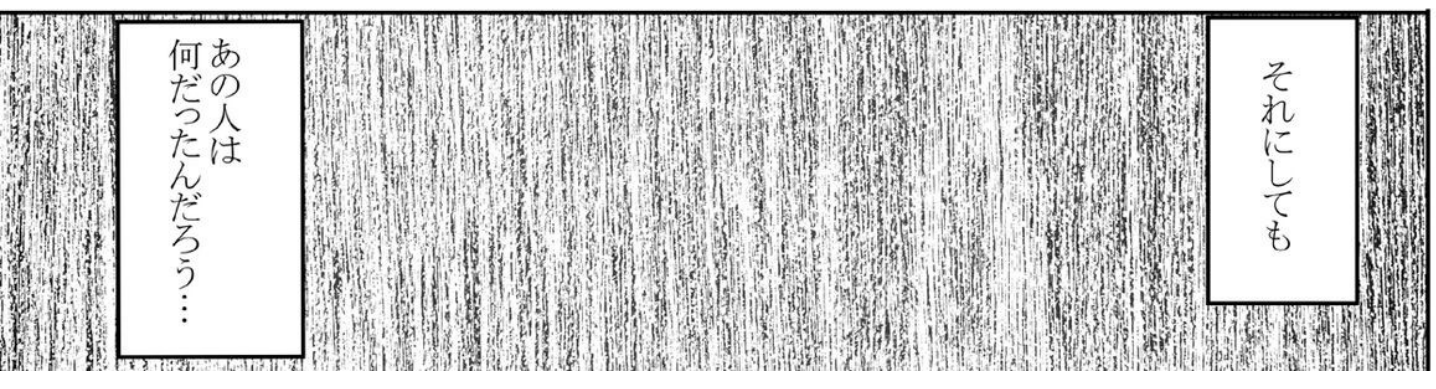

危なかった…


あのまま
続けられてたら…
私…




大学までの
1本目の電車と
2本目の電車…
この二つは
よく痴漢にあうから
いつも気を
張ってなくちゃ
いけなくて…


でも3本目の電車では
痴漢にあったことはない
それは3本目の電車は
比較的に空いていて
いつも座れるから
この車内だけは
安らげる空間だった
ガタン
ガタン
100%heart


それにしても
あの人は
何だったんだろう…


ガキッ
キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあってた
コだよね
……!!
不思議な声で
囁いてきて…


あんなふうに…
胸やお尻だけじゃなく…
アソコまで…
しかも私…
もう少しでイキそうに…


違う…
そんなことはない!
私は痴漢の手で
なんか…!

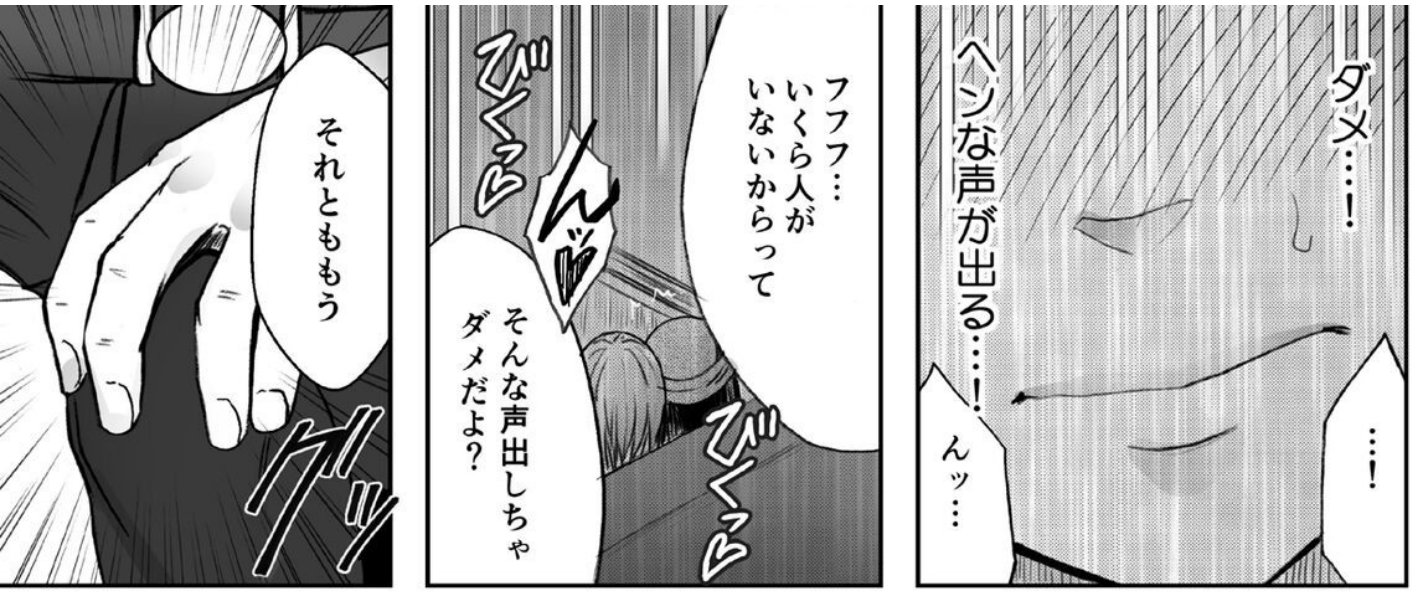

……!?
ドキッ
スッ
100%heart
えっ…?
……
ニヤリ

# 第2話
# 清純なカラダに潜んでいた素質


うそ…！
フフフ…どうしたの？
震えてるよ
また
さっきの男が追ってきたことに
動揺してるのかな？
グイッ
ドキ
ドキ
ドキ
また…
この人…!?


さすがにここまで
追ってくるとは
思っていなかっただろうし
まさかここでも…！
ガタン
ガタン
この人本当に
私を狙って…？
まさかこんな座った状態で
痴漢をされるとは
思っていなかったのかな？


100%heart
ああ…このイスに座った状態じゃ…
んッ…
もみもみ
でも怖がらなくてもいいんだよ…
優しく触ってあげるからね
びくっ
…ッ!!
もう逃げられない!
100%heart


ダメ…!
ヘンな声が出る…!
…!
んッ…
フフフ…
いくら人が
いないからって
びくっ
んッ
そんな声出しちゃ
ダメだよ?
それともう
グッ


声がガマンできないくらい
感じてるのかな?
ドキッ
100%heart
やっ!


ソコを触られると…
やっぱりもう
気持ちよくて
どうしようもないんだね
100%heart
さっきまでの感覚が
戻ってくる…！


私…さっきの電車でイキそうに…！
イク寸前で止められて…！
ヒク
ヒク
キュッ
ヒク
ヒク
キュッ
90%heart
電車を降りたときから私のカラダ…
火照ったままで…！
このままじゃ…！

どう？

イカせてあげようか？

!!!

ドクン

……！

イク……!?

イヤならはっきりと断っていいんだよ

本当にイヤがってるコをムリヤリするのはあんまり好きじゃないからね

えっ……？

……ッ！

やっ……！

そ…そんな…！


じゃあ
今から
手を入れて
直接アソコを触るから
クイッ
えっ…！
イヤならはっきりと
声に出して拒絶
したほうがいい
アソコを直接…？
そんな…！
さんざん触られて
濡れてるアソコを…！
今…そこを触られたら私…！
やっ！
ぷるっ
100%heart


これ以上気持ちよくなっちゃったら…
私…！
処女のキミは
まだ中は
キツいだろうから
まずは指一本で…
ダメ…！
グッ
ヌル♡


ダメなの…！
そこはっ…！


フフフ…
しないんだね
拒絶を
じゃあ…
ぬぷっ


ヒクッ
ぐいっ


やッ…やっぱりダメ…！
許して…くださいッ！
ヌル♡
本当にそう思ってる？
さっきの電車を降りるときもそうだったよね
せっかく逃げることができる駅に到着したのに
びくっ♡
びくっ♡
もうちょっとでイキそうだったから
一瞬降りるかどうかためらったよね
ビクッ♡
ビクッ♡

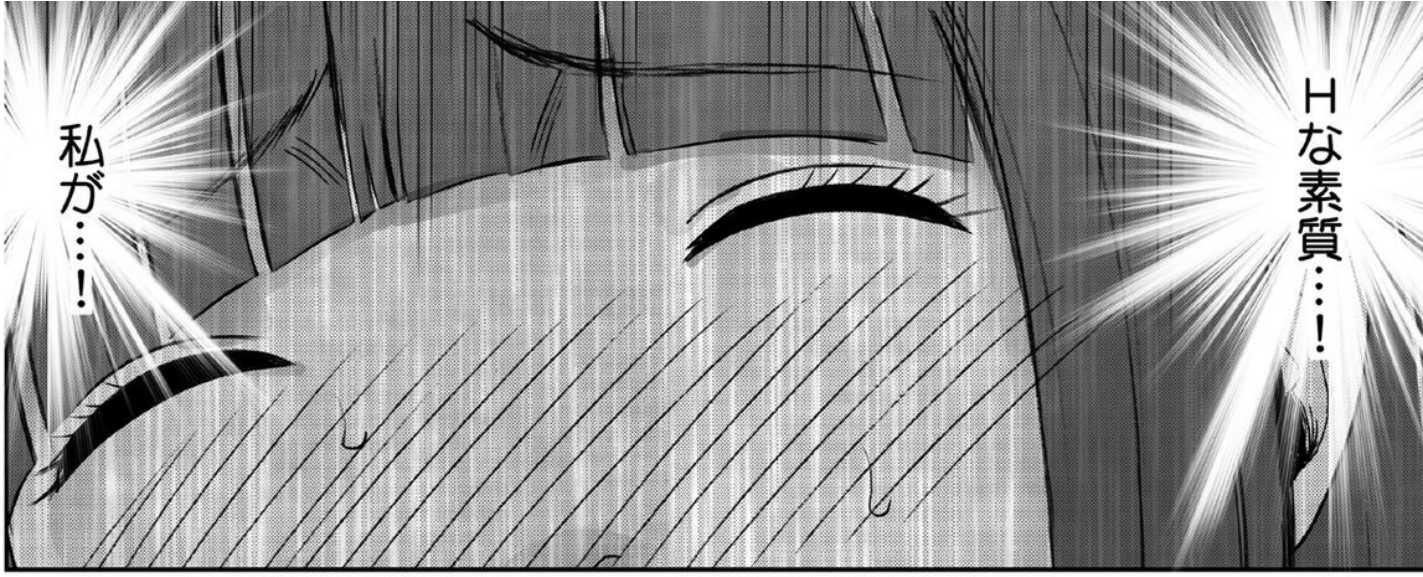

分かってるんだよ
キミは本当は
Hな女の子なんだ
んッ
ふるふるッ


電車の中で
痴漢されてるキミを見て
いつも思ってた
キミはHな素質を
秘めてるって


キミのHな素質を
びくっ
びくっ
100%heart
スリ♡
スリ♡


なぜキミばかりが
Hな男たちに狙われるのか…
男たちも無意識のうちに
嗅ぎ分けてるんだろうね


まだ
ヒロシ
ハァハァ


Hな素質…！
私が…！

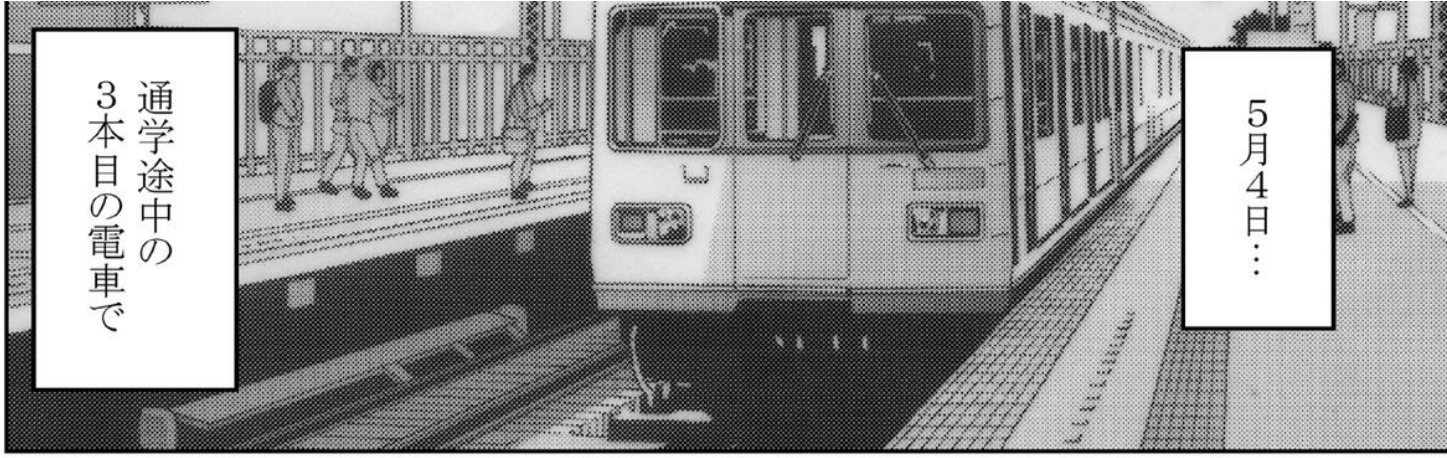

ヘタクソな男たちに
痴漢されてるキミを見ていて
もったいないと思ってたんだ
……!!
オレならキミの素質を
もっと上手く
開花させることが
できるって
ドキッ
バッ
プルン


ダメ……！
もう何もわからない……！
フフフ…
電車の中で
胸を露出
させられて
でも気持ちイイ……！
興奮が
抑えきれなく
なってるよね
これがイクってことなの？！
ダメなのに……！
こんなところで
イッちゃったら
ダメなのに……！
こんな無理矢理…
ダメなのに……！


もちろんそれが
いけないことだとは
分かっていた
それでも
その時の私には
もう
どうすることも
できなかった


1本目の電車で
心を挫かれ…
2本目の電車で
カラダを徹底的に崩され…
そして…


ハッ…♥
…
ヒクヒク
グッ♥
グッ♥


5月4日…
通学途中の
3本目の電車で


オナニーでイッたことも
無かった私は


見ず知らずの
男の手によって


私は生まれて初めての
絶頂を
…
教え込まれた…
100%heart



電車の中で痴漢されて
見知らぬ人に
教えられた――

生まれてはじめての
エクスタシー

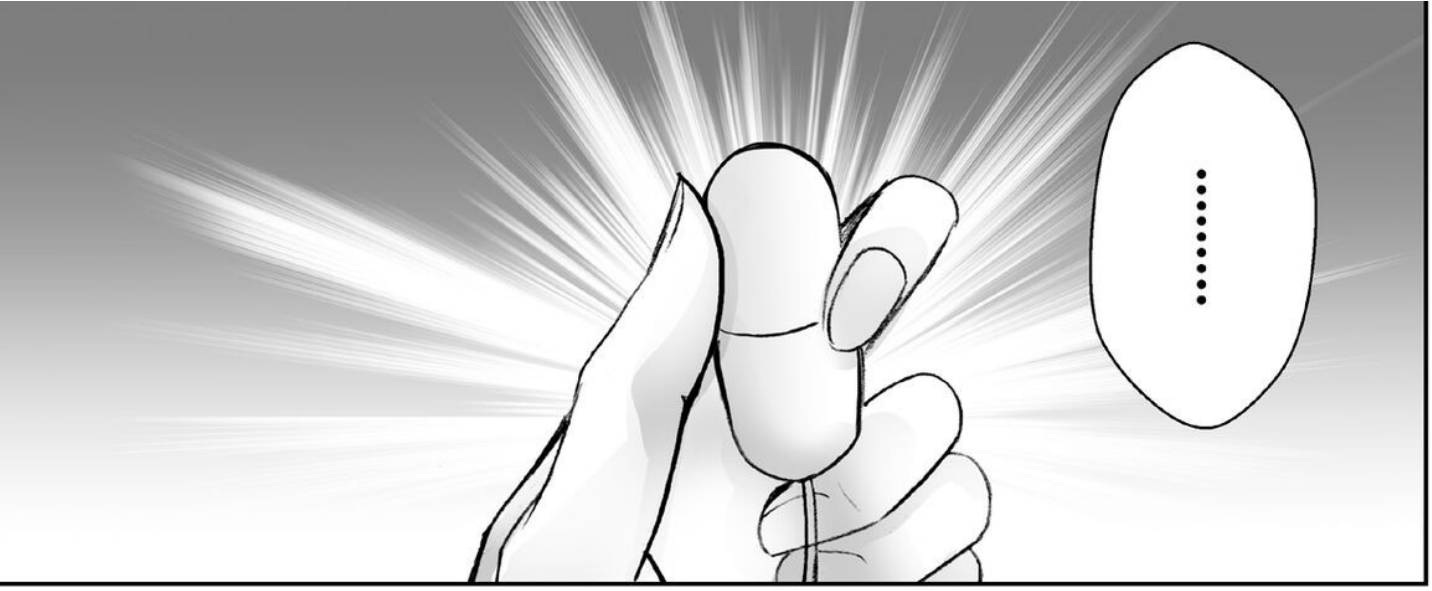


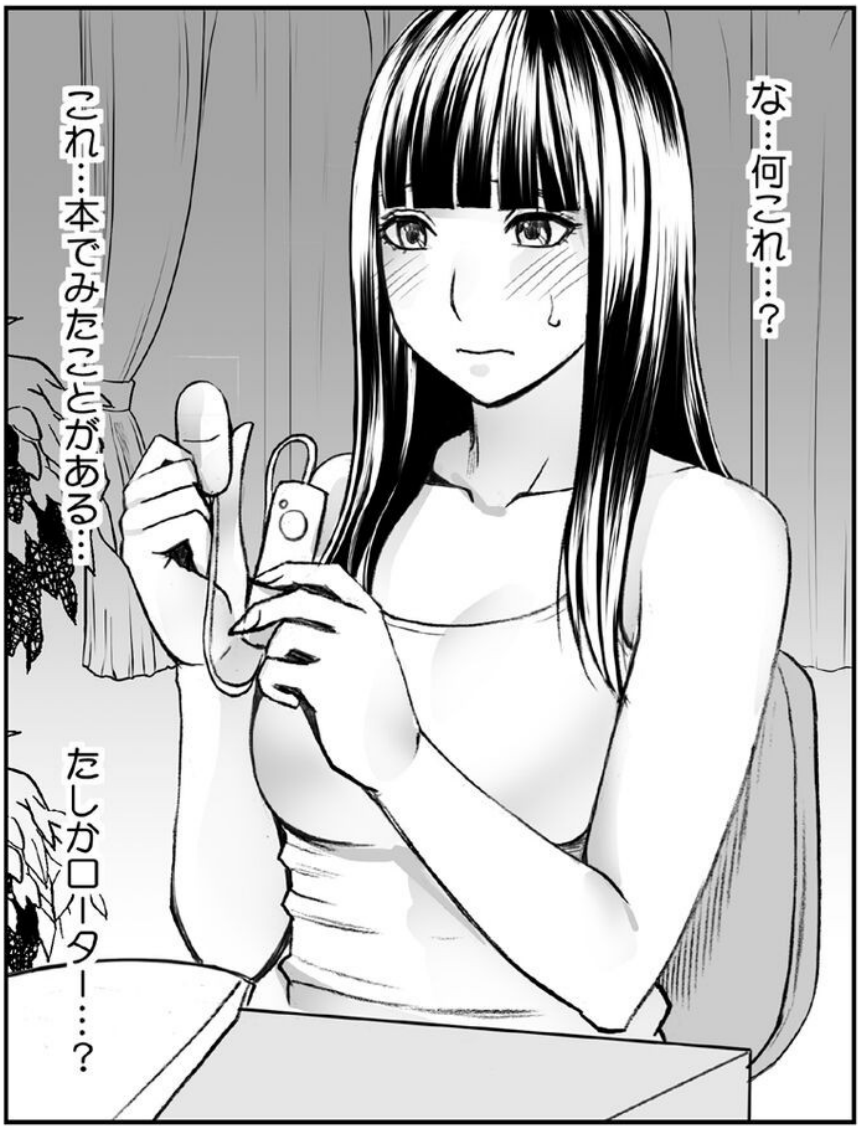
その日はもう何も
頭に入らなくて

一日中呆然としたまま
帰宅した…

家に帰って
気づいたんだけど

バッグの中に…


……


な…何これ…？
これ…本でみたことがある…
たしかローター…？


何で私のバッグに…!?
だ…誰が入れたの？

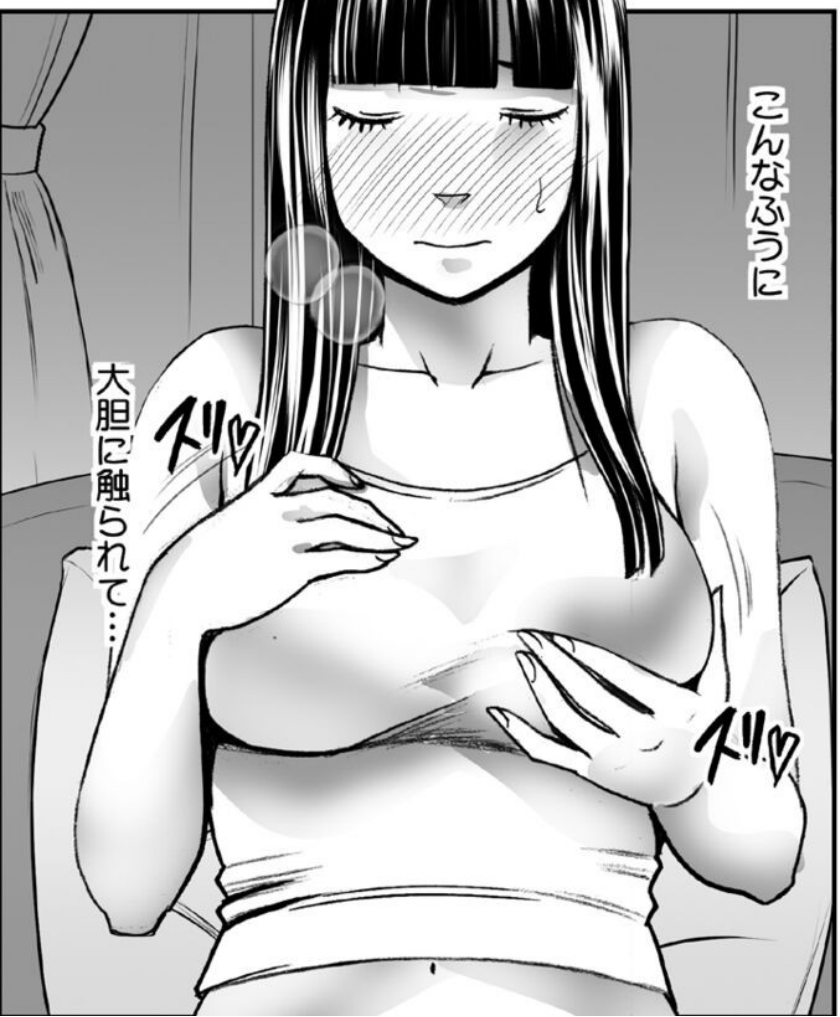

誰が…こんな…
びくっ
ん…
びくっ
ん…!


まさか…
今朝の痴漢が…

# 第3話
# 強制じゃないけど
# 強制に近い誘導

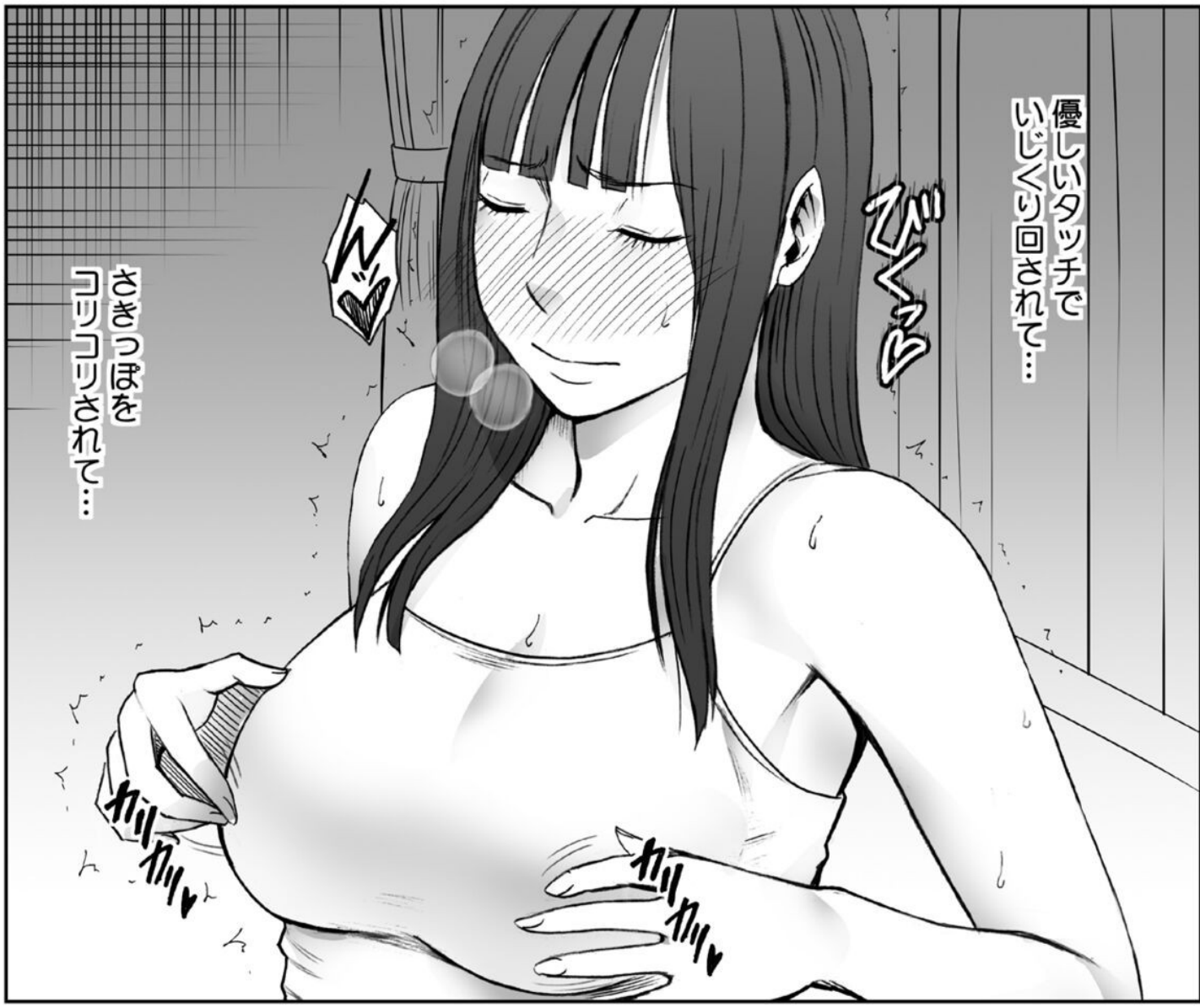

やだっ…どうしよう私…
……
また今朝のこと
思い出してきて…


今日は…
電車の中で胸を…
……!!
100%heart
フフフ…どうしたの？
震えてるよ
きの男が通ってきたことに
してるのかな？
胸を…
ドキ
ドキ
ドキ
また…この人…!?


こんなふうに
大胆に触られて…
スリ♡
スリ♡

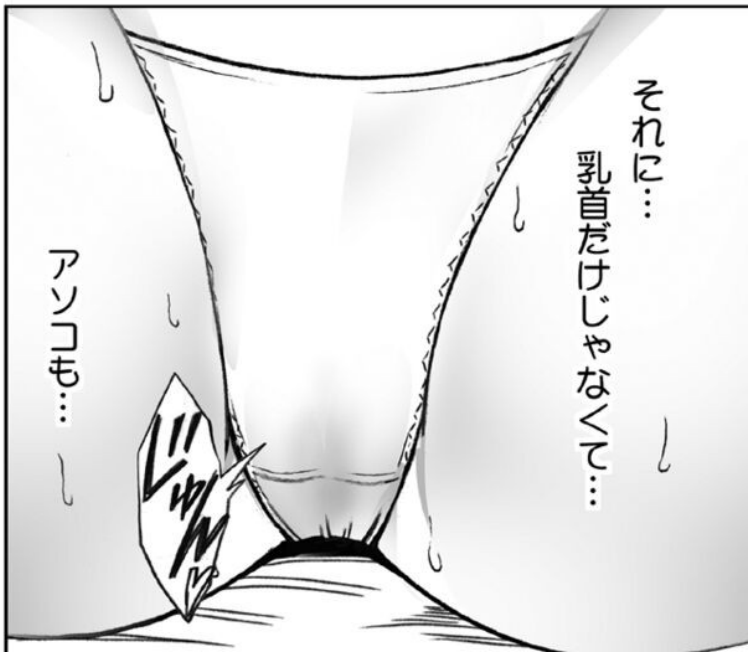

こんなふうに…
カリッ


乳首も…


優しいタッチで
いじくり回されて…
びくっ
さきっぽを
コリコリされて…
カリカリ
カリカリ


知らなかった…
私…


胸だけで
あんなに
感じるなんて…
あの人の指の動き…
どうやって
触ってるのか
分からないくらい
うまくて…


それに…
乳首だけじゃなくて…
アソコも…


誰にも
触られたことのない
アソコを…
…ッ！

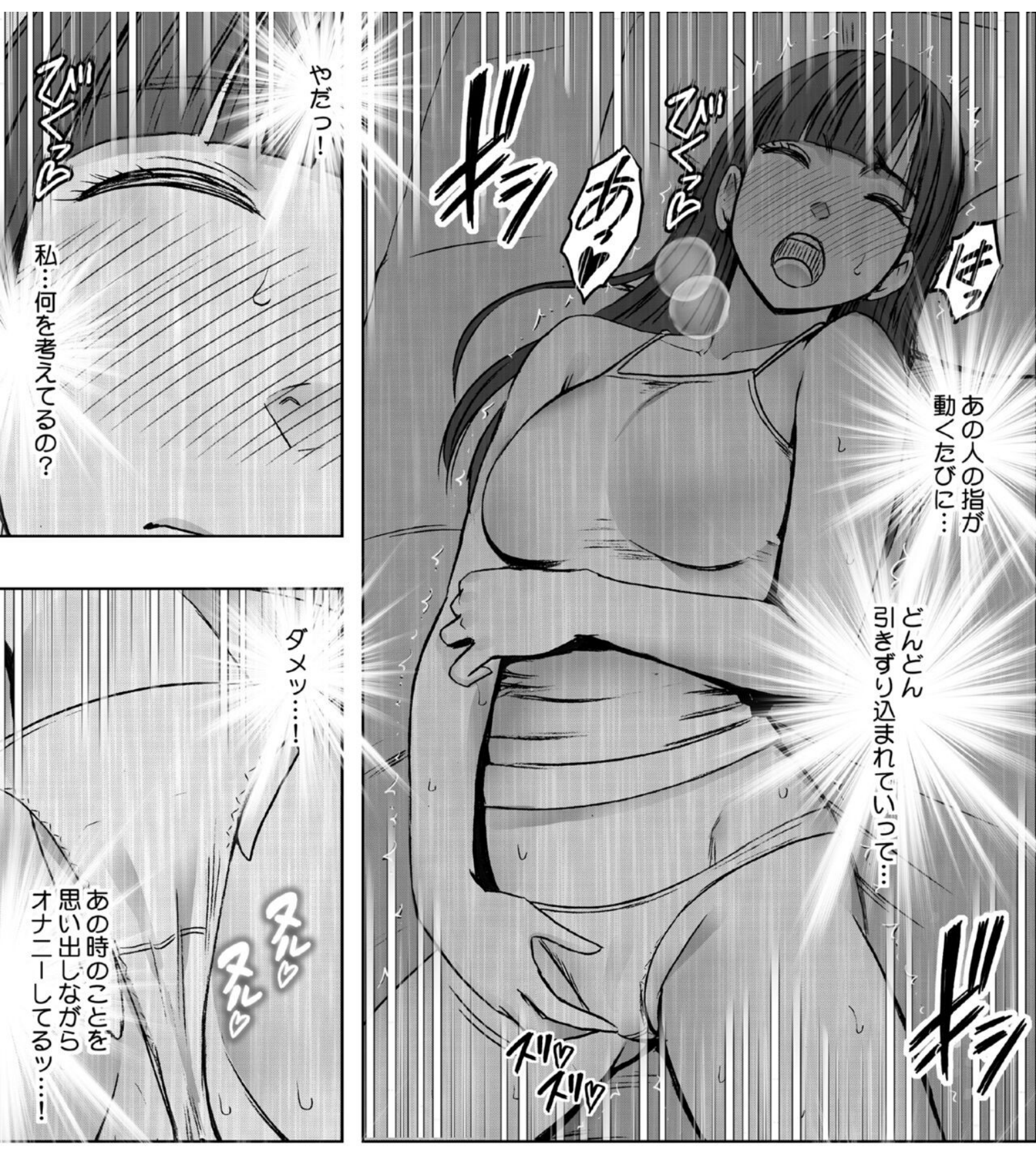

こんなふうに…
優しくなでる感じで…
スッ
パンツの上から
何度も何度も…
何十分も
触られ続けて…
触られて…イヤなはずなに…
恥かしいはずなのに…

私…電車の中で
あんなに感じて…

最後の電車では
パンツの中にまで手を…

濡れたアソコを
指を入れられて…！




ぴくっ
ぴくっ
あっ♡
ビクン
ビクン
ぴくっ
ぴくっ
やだっ！
私…何を考えてるの？
ダメッ…！
スル♡
スル♡
あの時のことを
思い出しながら
オナニーしてるッ…！
スリ♡
スリ♡
どんどん
引きずり込まれていって…
あの人の指が
動くたびに…
はッ
もうやめよう！
こんなこと…！
こんなこと
続けてると…！


あのときの感覚が蘇ってきて…
あの人に…
弄ばれてるみたいな錯覚に…!!
…ッ♥
びくっ
ピンッ
ピンッ
こんなこと
やめないと…!
びくっ
ピンッ
ピンッ


でも…でも…!
ふるふるッ
カラダが火照って…!

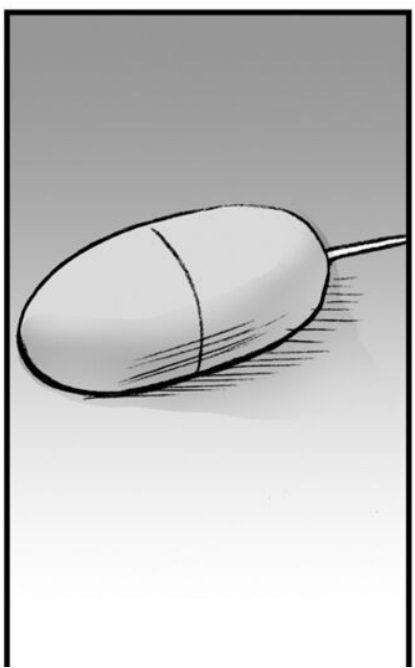

びくっ
ビクビク
このままじゃ
終われなくて…!

もっと
刺激が…！





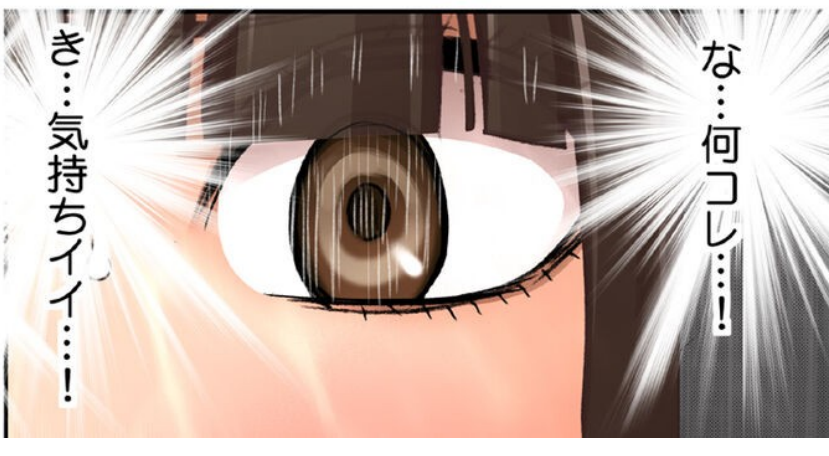







ちょっとだけ…!
ほんの
ちょっとだけ…!
ホントはダメ…
こんなこと
ダメなの…!
ほあ
ほあ
痴漢にもらったローターで
オナニーするなんて…
そんなの絶対に
いけないこと…
スッ
ちょっと試したら
すぐにやめる!
だから…
ヴィィィン!


ビクビクッ


な…何コレ…!!
き…気持ちイイ…!


ダメッ!
ブブブブン
気持ちよすぎッ…!


ビクビク
ビクビク
このままじゃ
すぐイッちゃう！
痴漢にもらった
ローターなんかで
イクなんて…
こんなことしてたら…


まるであの人の
思い通りに
なってるみたいで…！
…
ビクビク
オレならキミのHな素質を
もっと上手く
開花させることができるって
……！


ち…違う！
私はHな女の子
なんかじゃない！
違うの！
絶対に！
もう終わりッ！
早くローターを
止めないと…！
ローターを…！

本当にもう
やめようと思っていた

でも…
引き返せなかった

そればかりか

今日一日分の快感が
一気に蘇ってきて…




また電車で
あの人と遭遇した
私は
前回よりも
もっと大胆なことを
されて
ムニュ♡
ムニュ♡
徹底的に
何度も何度も
イカされて
ふるふるッ


ぬるっ♡


何も
できない…！
電車の中で…
されても…！
ハ～ッ
ハ～ッ
きっと
私…！
何もできずに…！


耳元で
ゾクゾクするような
言葉を囁かれながら
…ッ
びくっ♡
びくっ♡
ビ〜〜ッ♡
体の奥まで
感じさせられて
クリクリ♡
クリクリ♡
今までに
味わったことのないような
快感で翻弄されて…!!


ヒクヒク
ヒク


ビクン
ビクン
ガシッ

それまでの私のオナニーは
ただ気持ちよくなる
だけで

イクところまでは
行ってなかった

でも…




一度男の人に快感を
覚えさせられた
私のカラダは…

もう止まることは
できなかった…

その日…結局

疲れ果てて眠るまで

6回もエクスタシーに
達した…